給水装置工事図面作成方法

１．基本事項

（１）記入上の注意事項

１）設計図は、CAD による図面及び同等以上のものとすること。

２）一見して工事の全貌を知ることができること。

３）正確かつ簡単明瞭であること。

（２）案内図等

１）申込地を中心としたわが町ガイドを添付、もしくはそれと同等明瞭のもの。

（３）平面図

１）配管は、配水管から記入する。

２）道路形態を記入する

３）公道又は私道の別を記入する。

４）隣接家屋名を記入する。なお、個人宅の場合は住所とする。

５）配水管、給水管の別を問わず分岐工事がある場合は、オフセットのポイント（３点）を記入する。

６）受水槽が設置される場合には、その位置を記入する。

７）部分的に説明を必要とする場合は、詳細図を記入する。

８）給水管から分岐する場合（分岐しているものも含む）は、分岐する給水管の前後の分岐軒数を記入する。

（４）立面図

１）配管等を、平面図に対して 15 ° に書き表す。

２）全てに管種及び口径を記入する。

３）メーター１次側及びメーター前後の管長を記入する。単位は、径をミリメートル、長さをメートルとする。

※原則として立面図を記載すること。ただし、平面図のみで工事の内容が明瞭な場合については立面図を省略することができる。

４）口径 75 mm 以上は、配水管布設工事に準じた立面図とする。

２．工事種別等による事項

（１）新たに給水管を分岐する場合

１）距離測定基準の表函類及び基準位置

分岐点をＡ点とし、測定ポイントの３点は、Ｂ点を反対側の境界、Ｃ、Ｄ点は任意点とするが、選択順位は下記のとおりとする。

① マンホール

ガス、電話、電力、下水（直径 500 mm 以上）、その他マンホール等の中心より測定する。

② 電柱、信号柱、街灯柱等の側面から測定する。

③ 水道表函類

既設消火栓、既設空気弁等の中心から測定する。

④ 雨水ます、汚水ますの中心から測定する。

⑤ 道路側の官民境界石から測定する。

⑥ その他オフセットのポイントの選択が困難な場合、申込時に協議しオフセットポイントを決める。

2）舗装先行工事におけるオフセット測定基準

舗装先行が連続して３箇所以上ある場合は、分岐点間距離とオフセットを次のとおり記入する。

① 分岐起点と分岐終点が 100 m 以内の場合は、分岐起点及び分岐終点のオフセットを記入する。

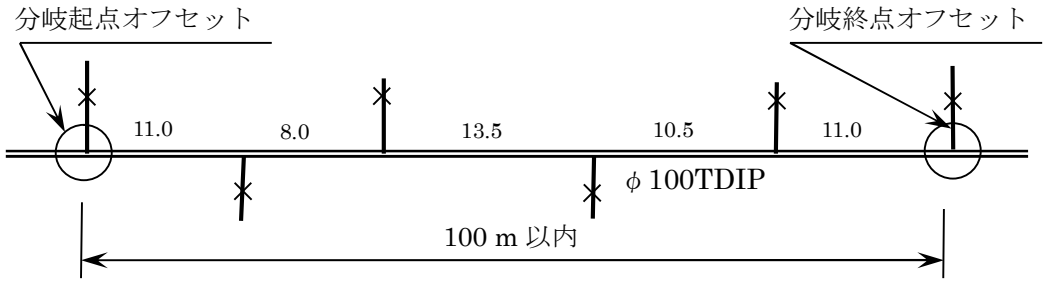


図１　分岐起点と分岐終点が 100 m 以内の場合

② 分岐起点と分岐終点が 100 m を超え 200 m 以内の場合は、分岐起点と分岐起点から 100 m 付近及び分岐終点のオフセットを記入する。

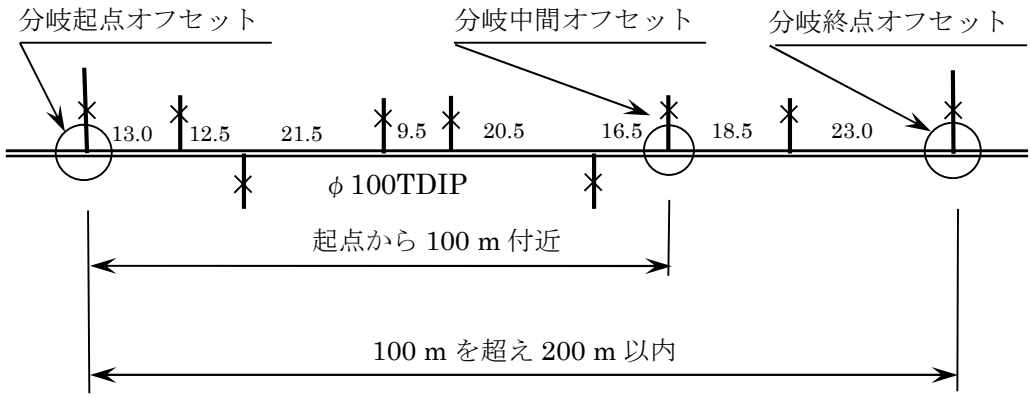


図２　分岐起点と分岐終点が 100 m を超え 200 m 以内の場合

③ 分岐起点と分岐終点が 200 m を超える場合は、分岐起点と分岐起点から 100 m 付近毎及び分岐終点のオフセットを記入する。

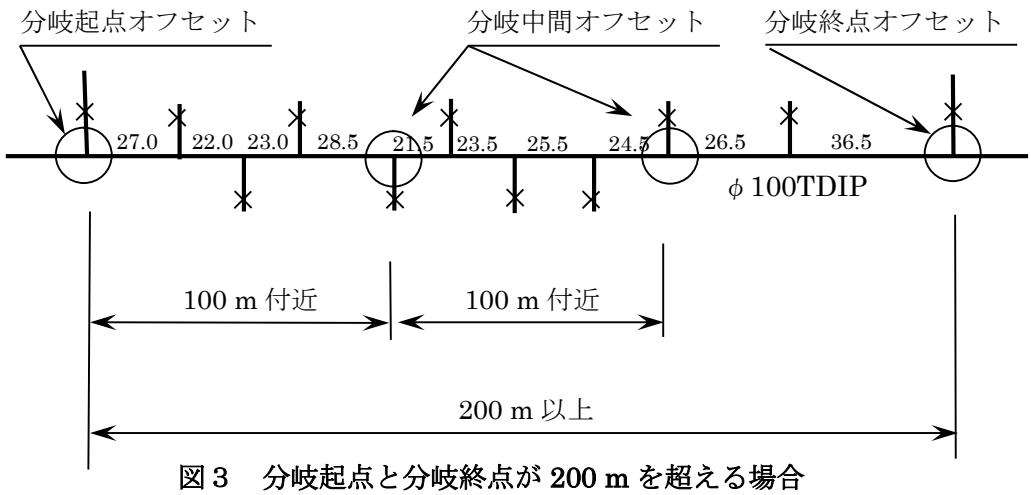


図３　分岐起点と分岐終点が 200 m を超える場合

④ 区画整理地内等は、①、②、③に準じ１ルートずつの計測とし、配水管が並列の場合は、１配水管毎とする。また、分岐オフセットを計測した場合は配水管の埋設位置及び埋設深さを記入する。

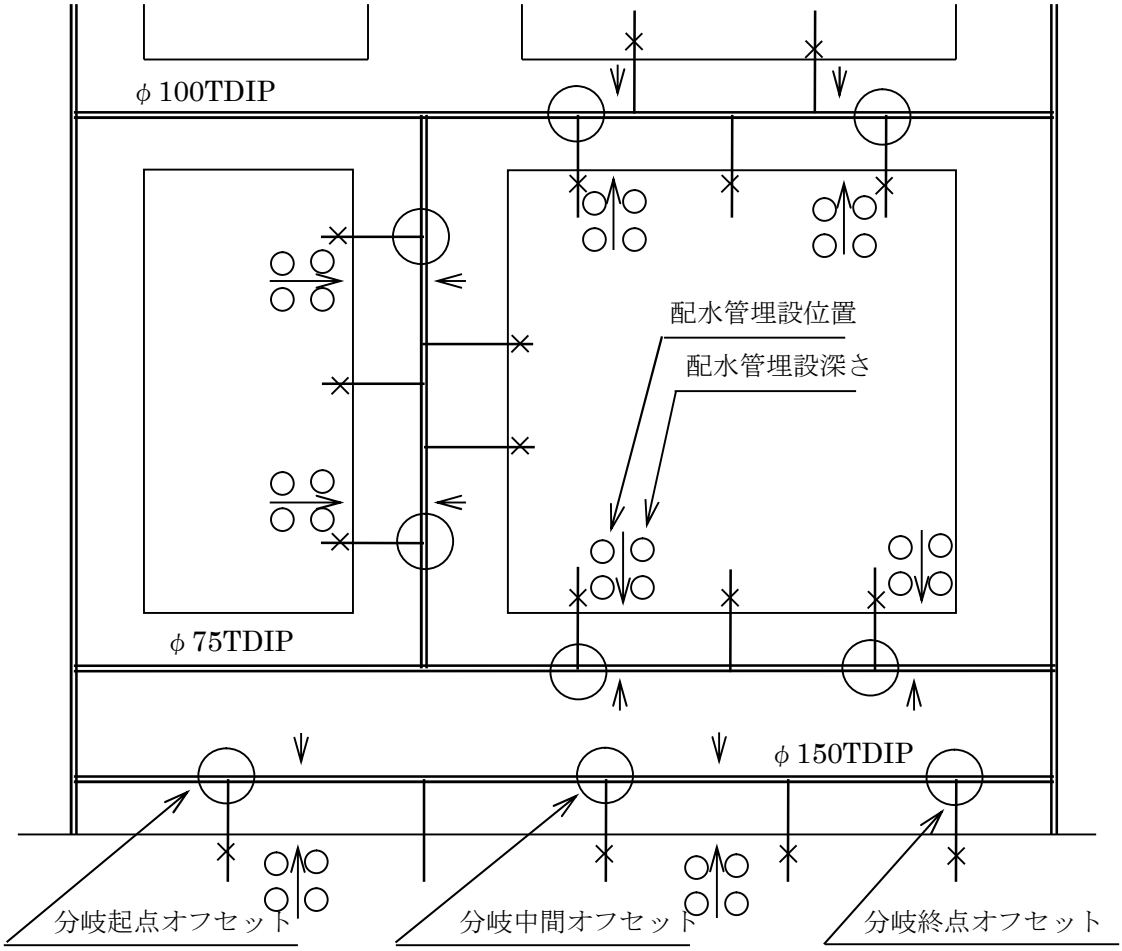


図４　区画整理地内等の場合

３）オフセットの測定基準点シンボル

図面には次に示すシンボルにて表記する。

表１　オフセットの測定基準点

マンホール	下　水	Ⓢ	0.3~0.4cm	水道表函類	仕 切 弁	⋈	0.3~0.4cm
	ガ　ス	Ⓖ	0.4cm		ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ	‖	0.3~0.4cm
	電　話	Ⓣ	0.4cm		双口消火栓	◉	0.4cm
	電　力	Ⓔ	0.4cm		単口消火栓	●	0.3cm
電柱	配　電	Ⓟ	0.2cm	その他	照 明 灯	Ⓗ	0.3cm
	電　話	●	0.2cm		信 号 灯	○	0.3cm
	外　灯	◒	0.2cm		電話ﾎﾞｯｸｽ	Ⓒ	0.4cm
					官民境界石	⊞	0.3~0.4cm

（2）メーターを新設する場合

1）口径 20 mm のメーターを新設する場合

立面図の施工メーター記号内に番号をつける。したがって、複数メーターがある場合には１、２、３…と番号が増えることになる。

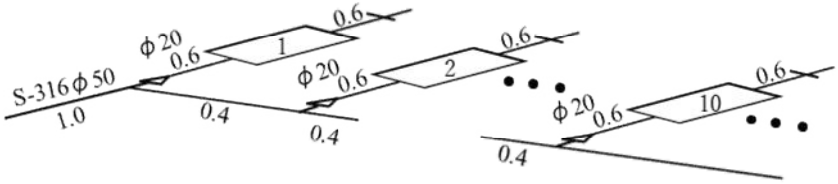


図５　立面図への記入例

2）口径 25 mm 以上のメーターを新設する場合

番号付けについては１）と同様であるが、口径 25 mm 以上のメーターを新設する場合、立面図に口径何 mm かを明記する。

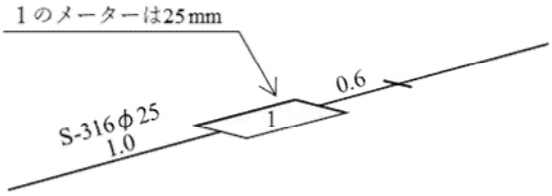


図６　立面図への記入例

（3）メーターを撤去する場合

1）　撤去工事及び増変工事の場合

立面図に撤去するメーターの口径及び番号を記入する。また、複数のメーターを撤去する場合には撤去メーターに番号をつけること。

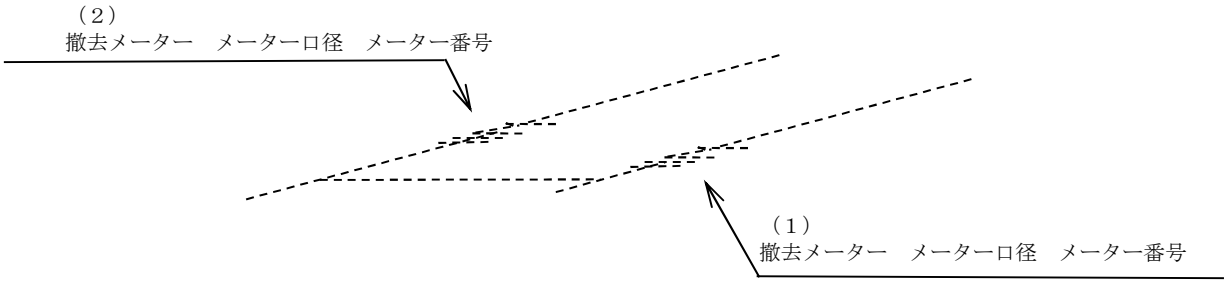


図7　立面図への記入例

2）メーターを局で取り外している場合の注意事項

撤去の対象メーターを局で取り外している場合は、メーター口径、メーター番号と共に取り外し年月日を記入する。また、メーターを取り外してから年月が立ち、メーター番号が不明の場合は、メーター番号不明と記入する。

（４）メーターを移設する場合

給水管の布設替え等でメーターを移設する場合には、現在の設置場所と新たな設置場所を明確に記入する。

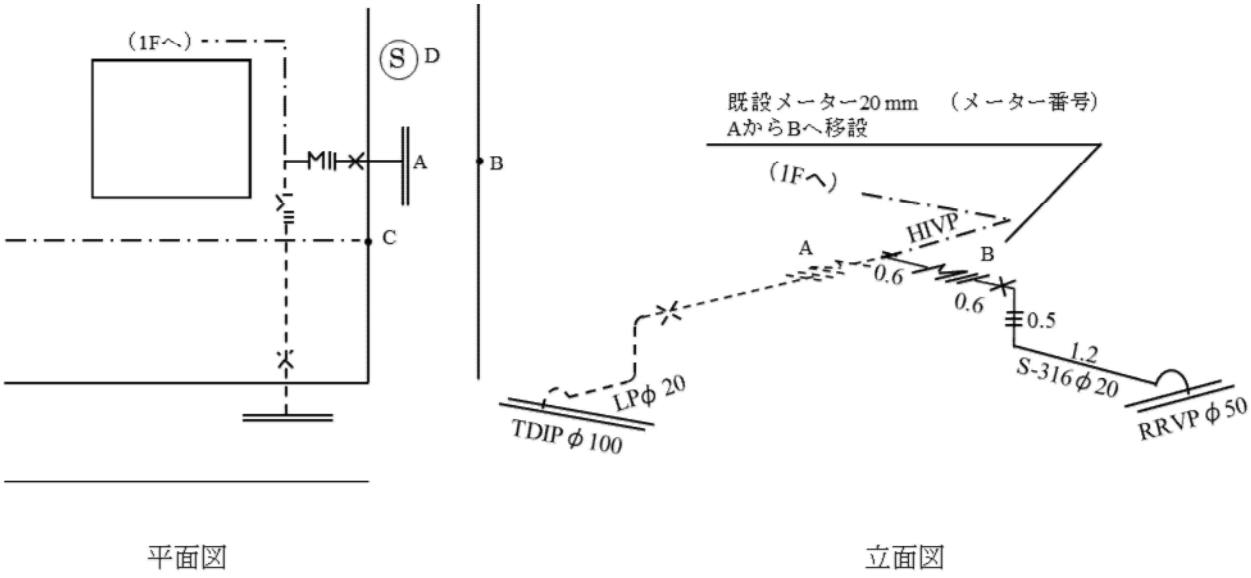


図８　図面記入例

（５）メーターボックスのみを設置する場合

舗装先行工事等でメーター設置に先立ちメーター口径 25 mm 以上用のメーターボックスを設置する場合は、立面図に設置するメーターボックスがメーター口径何 mm 用かを明記する。

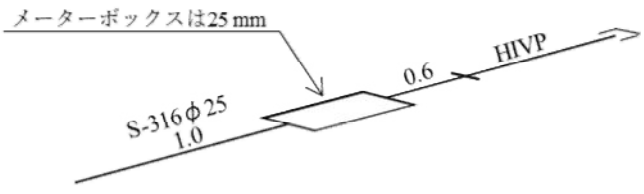


図９　立面図への記入例

（6）受水槽を設置又は撤去する場合

1）基本事項

図面は受水槽まで（直圧部分）と流末装置を分けること。

2）受水槽を設置する場合

平面図に受水槽の位置、寸法及び有効容量を記入する。

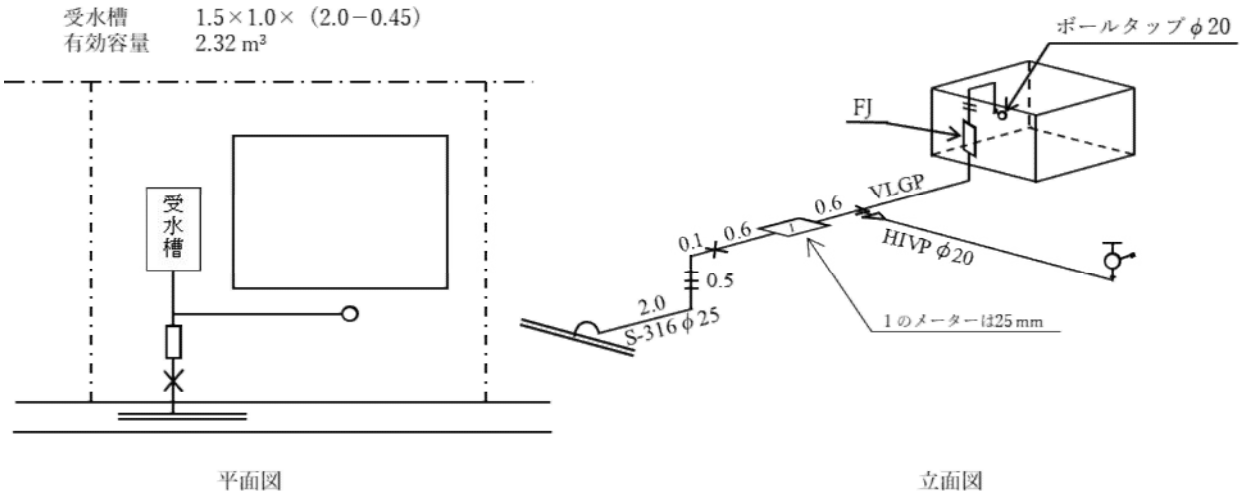


図 10　受水槽を設置する場合の図面記載例

3）受水槽を撤去する場合

平面図に撤去する受水槽の位置、寸法及び有効容量を記入する。

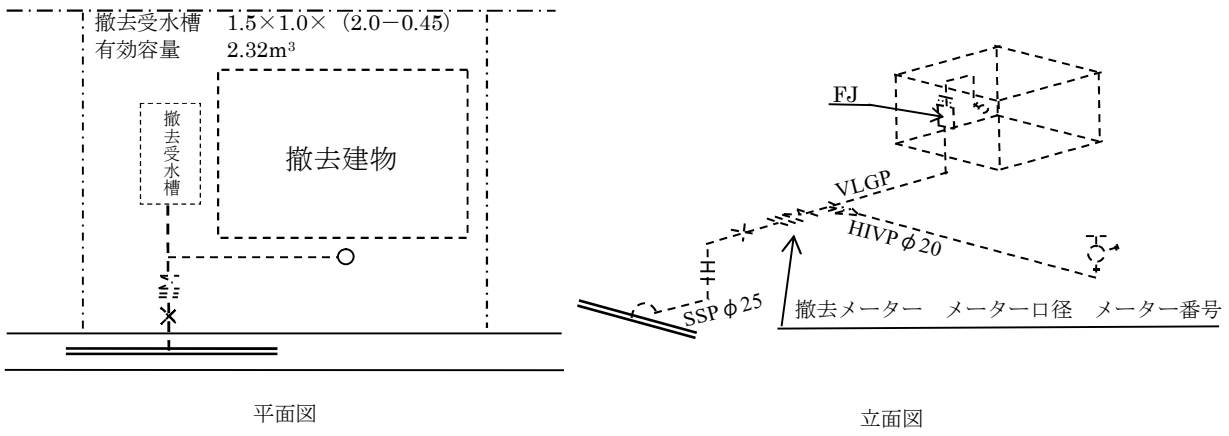


図 11　受水槽を撤去する場合の図面記載例

４）新設工事と同時の場合

簡易な撤去図に撤去受水槽マーク (T) を記入し、撤去する受水槽の寸法及び有効容量を記入する。

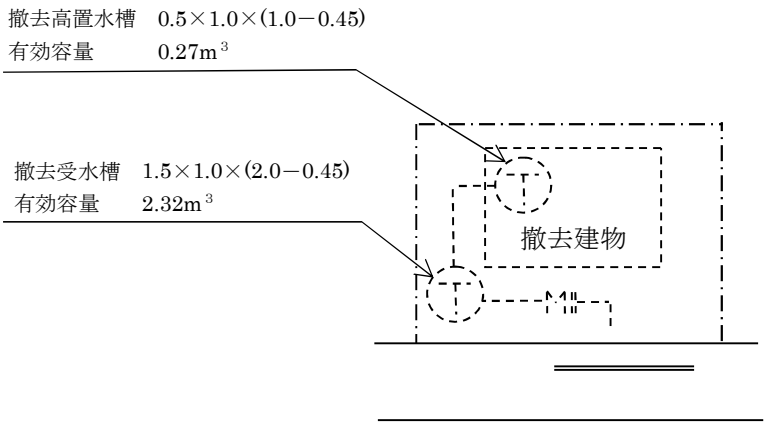


図 12　　新設工事と同時に受水槽を撤去する場合の図面記載例

（７）定流量弁を設置する場合

平面図に定流量弁の位置及び設定値を記入する。

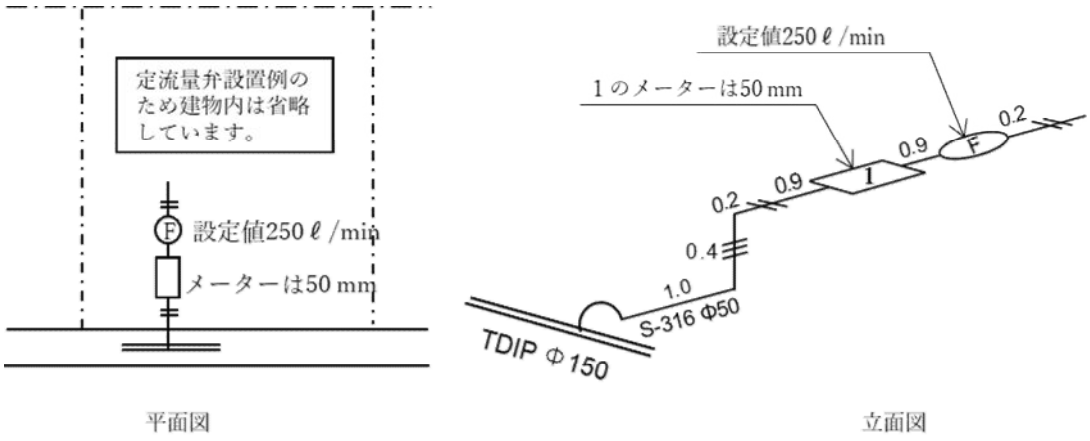


図 13　定流量弁（50 mm）を設置する場合の図面記載例

（８）配水管 50 mm から給水管 40 mm を分岐する場合

立面図に、分岐に使用する管種及び材料を詳細に記入する。

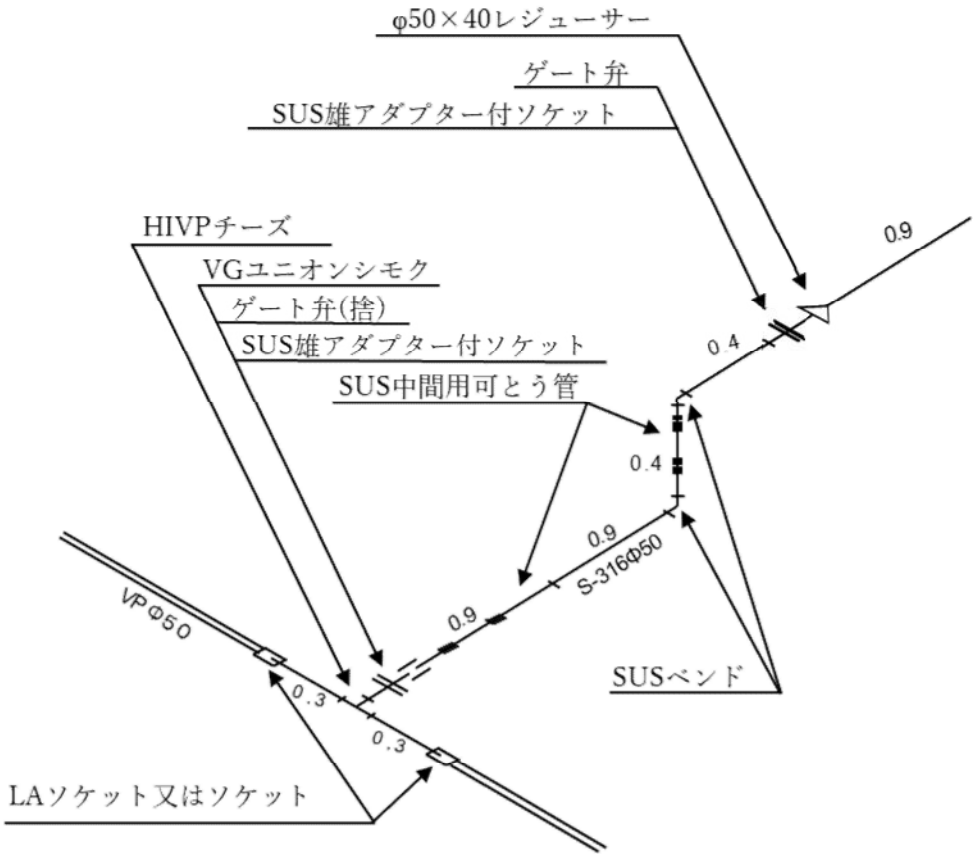


図 14　ステンレス管（材質 SUS304）　使用時の立面図記載例

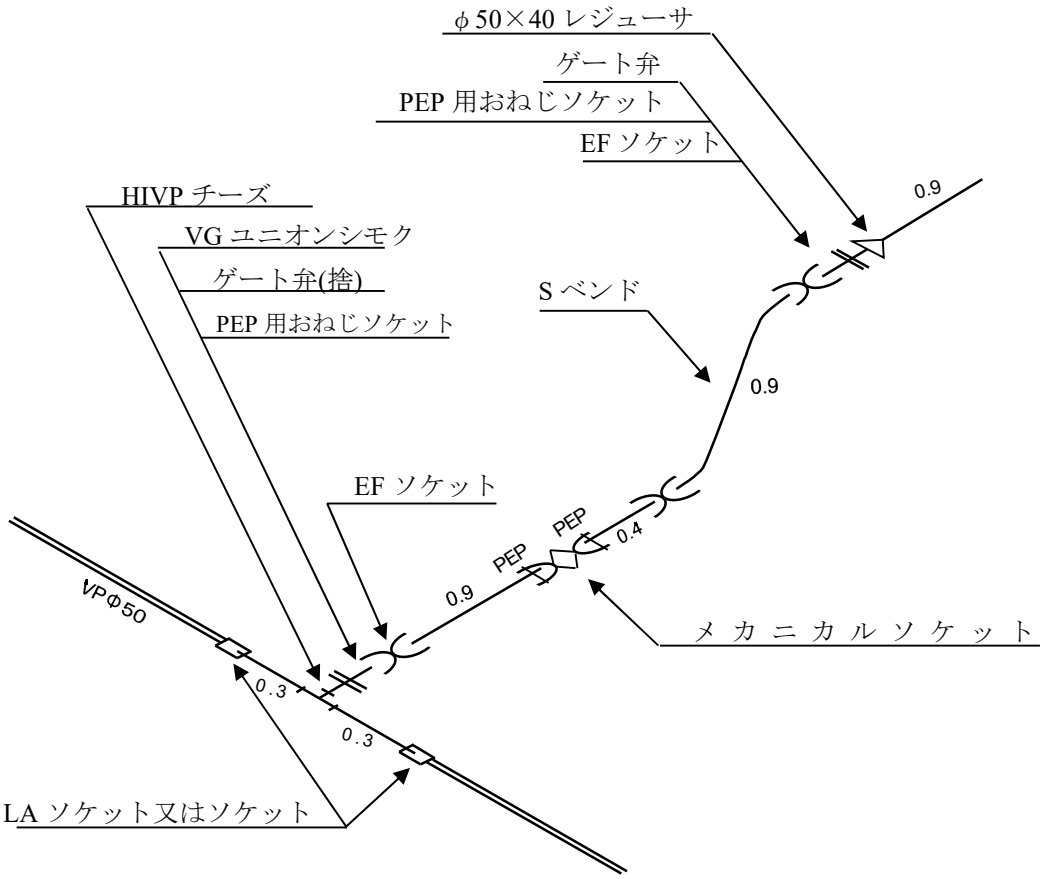


図 15　水道配水用ポリエチレン管（PEP）　使用時の立面図記載例
（配水管 VP・HIVP の場合）

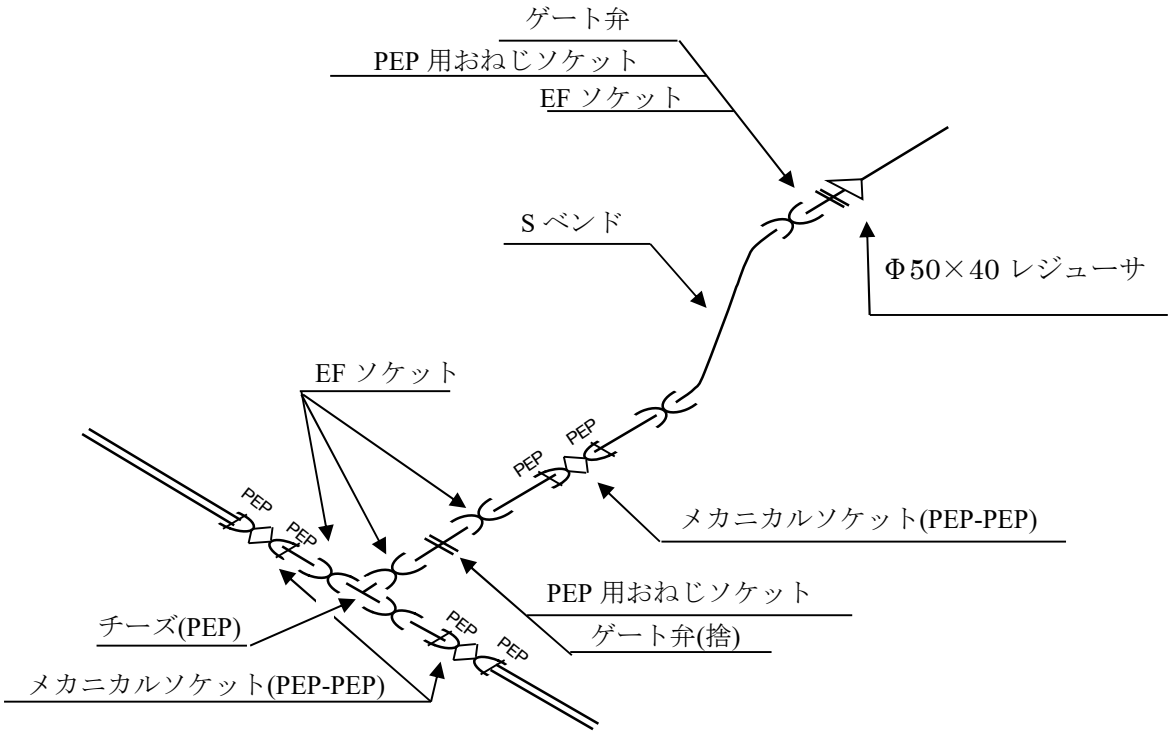


図 16　水道配水用ポリエチレン管（PEP）　使用時の立面図記載例
（配水管 PEP の場合）

（９）舗装先行工事の場合

舗装先行工事の場合、後の建築時に給水地盤高がわかるよう平面図に計画高を記入する。

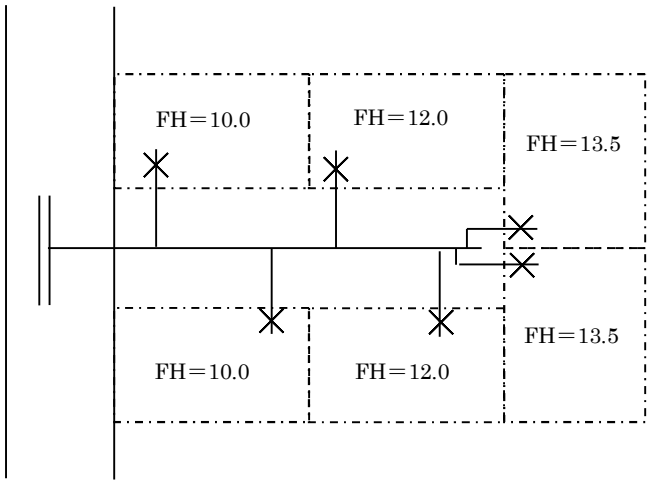


図 17　舗装先行工事の平面図記載例

（10）増圧給水設備設置猶予の場合

平面図に２点鎖線で増圧給水設備設置予定スペースを記入し、その寸法を記入する。

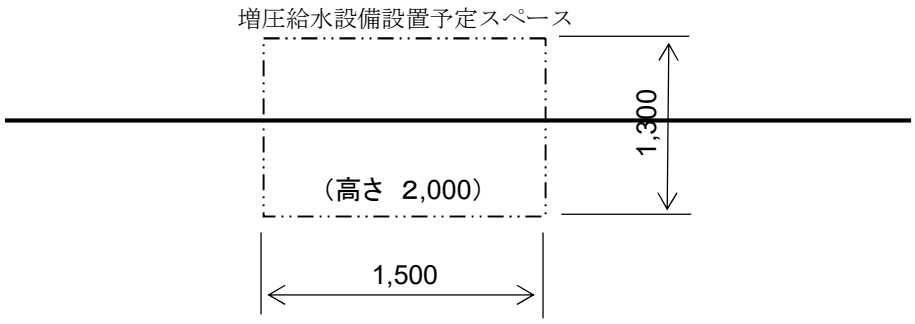


図 18　増圧給水設備設置予定スペースの平面図記載例

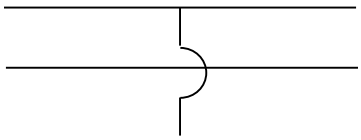
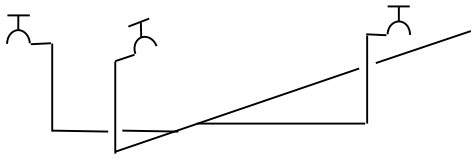
（11）しゅん工図への記載事項

しゅん工図は、給水装置工事の記録となるので、工事施行内容を忠実に記載する。しゅん工図には、申込後に局で記入した項目（申込年月日、工事番号、配水池名）についても記載する。

３．図面表記凡例

１）管類の表示

	線　　種	線幅（mm）
新 設 管	――――――――――――――――――――	０．４
既 設 管	―・―・―・―・―・―・―・―・―・―・―・―・―・―	０．２
撤 去 管	----------	０．２
残 置 管	図面表示は既設管として記入	

管の交差	平　面　図	立　面　図
		

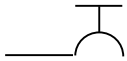
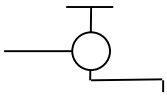
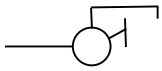
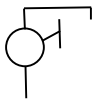
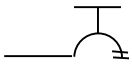
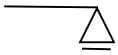
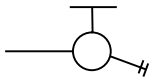
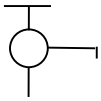
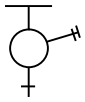
２）一般表示

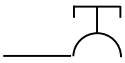
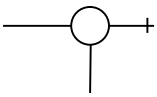
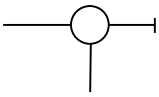
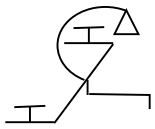
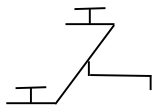
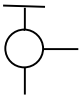
マンホール	Ⓖ	ガ　ス		門		歩道を有する部
	Ⓣ	電　話		照　明　等		Ｕ 字 溝
	Ⓢ	下　水		塀		Ｌ 型 側 溝
	Ⓔ	電　力		生　垣		の り 面
	Ⓨ	その他		さ　く		ト ン ネ ル
電柱	○	配　電	（花）	花　壇		横断歩道橋
	●	電　話	浄	浄　化　槽		鉄　道
	○	外　灯		階　段	-------	区 域 界
		ｺﾝｸﾘｰﾄ擁壁	‖　‖	田	-·-·-·-·-	町　界
		石　積	V　V	畑	――――	丁 目 界
		橋	○　○	樹　木　畑	-·-·-·-·-	隣地境界
ＡＳ　アスファルト道路　ＣＯ　コンクリート道路　Ｇ　未舗装道路						

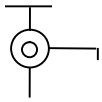
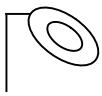
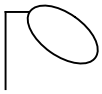
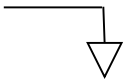
3）管種記号

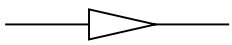
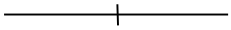
名　　称	記　　号
水道用ステンレス鋼管（材質 304）	SSP
水道用ステンレス鋼管（材質 316）	S－316
水道用ポリエチレン１種二層管	PEP－2
給水用青色高密度ポリエチレン管	PP100
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	VLGP
水道用亜鉛メッキ鋼管	GP
水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP
水道用硬質塩化ビニル管	VP
鉛管２種管	LP－2
ダクタイル鋳鉄管	DIP
水道用ポリエチレン管［太陽熱温水器用］	PEP
架橋ポリエチレン管	CPEP
ポリブデン管	PBP

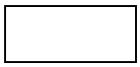
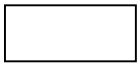
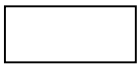
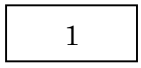
4）平面図、立面図記号一覧（口径 13 mm 以外は口径を明記する）

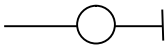
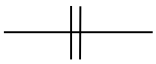
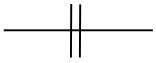
水栓			名称
ＮＯ	平面図	立面図	
1	○		・胴長水栓
2	○		・自在水栓 ・首長自在水栓
3	○		・横形自在水栓
4	○		・立形自在水栓
5	○		・カップリング水栓
6	○		・衛生水栓
7	○		・万能ホーム水栓
8	○		・立水栓
9	○		・カップリング散水栓

水栓			名　　称
ＮＯ	平　面　図	立　面　図	
10	○		・分岐水栓
11	○		キー付横水栓
12	○		・小便水栓
13	○		・小便フラッシュ弁
14	○		・シャワー付混合水栓
15	○		・混合水栓
16	▷ 受水槽使用のみ		・ボールタップ
17	□		・水栓柱
18	Ⓗ		・私設消火栓

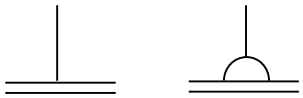
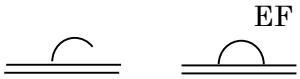
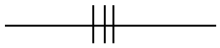
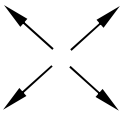
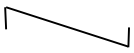
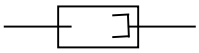
水栓			名称
NO	平面図	立面図	
19	○		・その他水栓
20	Ⓗ	Ⓗ	・消火栓
21	○		・水飲み水栓
22	○		・タンクレストイレ
23	○		・フラッシュバルブ
24	○		・スプリンクラーヘッド ▽（湿式） ▼（乾式）

継手			名称
NO	平面図	立面図	
1			・異径ソケット
2			ユニオンシモク （SL, VC, VL, VG, GL, VS）

メーター			名　　称
ＮＯ	平　面　図	立　面　図	
1			既設メーター （メーター補助バルブ含む） （50 mm まで）
2			・メーターきょう
3			既設メーター 私設メーター
4		 （ナンバリング）	施工メーター

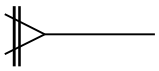
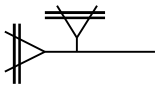
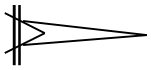
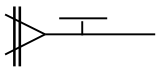
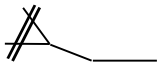
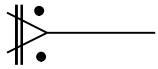
バ　　ル　　ブ			名　　称
ＮＯ	平　面　図	立　面　図	
1			・止水栓
2			・アングルバルブ
3			・ストレートバルブ
4			・仕切弁
5			・ゲート弁
6			逆止弁（スイング） 逆止弁（リフト）
7			・減圧弁
8			定流量弁

バ　　ル　　ブ			名　　称
ＮＯ	平　面　図	立　面　図	
9	Ⓢ	Ⓢ	・電磁弁
10	Ⓐ	Ⓐ	・空気弁 ※吸排気弁は引出し線で 「吸排気弁」と記入
11		F	定水位弁 （ボールタップ等と併用）
12	◯	⊘	・チャッキ内蔵バルブ

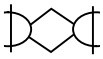
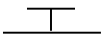
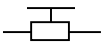
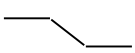
そ　　の　　他			名　　称
ＮＯ	平　面　図	立　面　図	
1			・ポンプ
2			・ブースタポンプ
3			サドル付分水栓による分岐（分水栓付 EF ｻﾄﾞﾙによる分岐は記号に EF を付ける。）
4			・可とう管
5			立上り 立下り
6			・フレキシブル継手
7			・分割マーク
8			・コスモバルブ
9			・伸縮管
10			・キャップ

5）口径 75 mm 以上で配水管工事に準ずるもの（参考図）

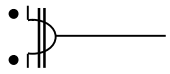
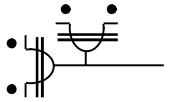
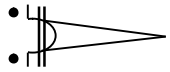
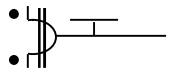
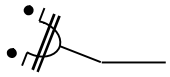
NS 形

項目		シンボル	項目		シンボル
1	NS 形鋳鉄管		7	短管1号	
2	二受 T 字管		8	短管2号	
3	受さし片落ち管		9	栓	
4	さし受片落ち管		10	1FT 字管	
5	曲管		11	NS 形鋳鉄管 ライナー使用個所	
6	継輪				

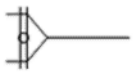
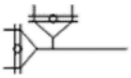
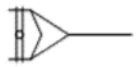
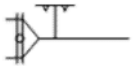
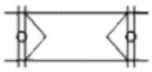
PEP

項目		シンボル	項目		シンボル
1	直管		7	フランジ （FCD）	
2	チーズ		8	キャップ	
3	EF ソケット		9	メカニカルソケット	
4	レジューサー		10	フランジ付チーズ	
5	ベンド		11	PE 用不断水分岐 割丁字管	
6	S ベンド				

K 形

項目		シンボル	項目		シンボル
1	K 形鋳鉄管 （耐震特押施工時）		7	短管1号 （耐震特押施工時）	
2	二受 T 字管 （耐震特押施工時）		8	短管2号	
3	受さし片落ち管 （耐震特押施工時）		9	栓	
4	さし受片落ち管 （耐震特押施工時）		10	1FT 字管 （耐震特押施工時）	
5	曲管 （耐震特押施工時）		11	ギボルト	
6	継輪 （耐震特押施工時）		12	異種管継手	

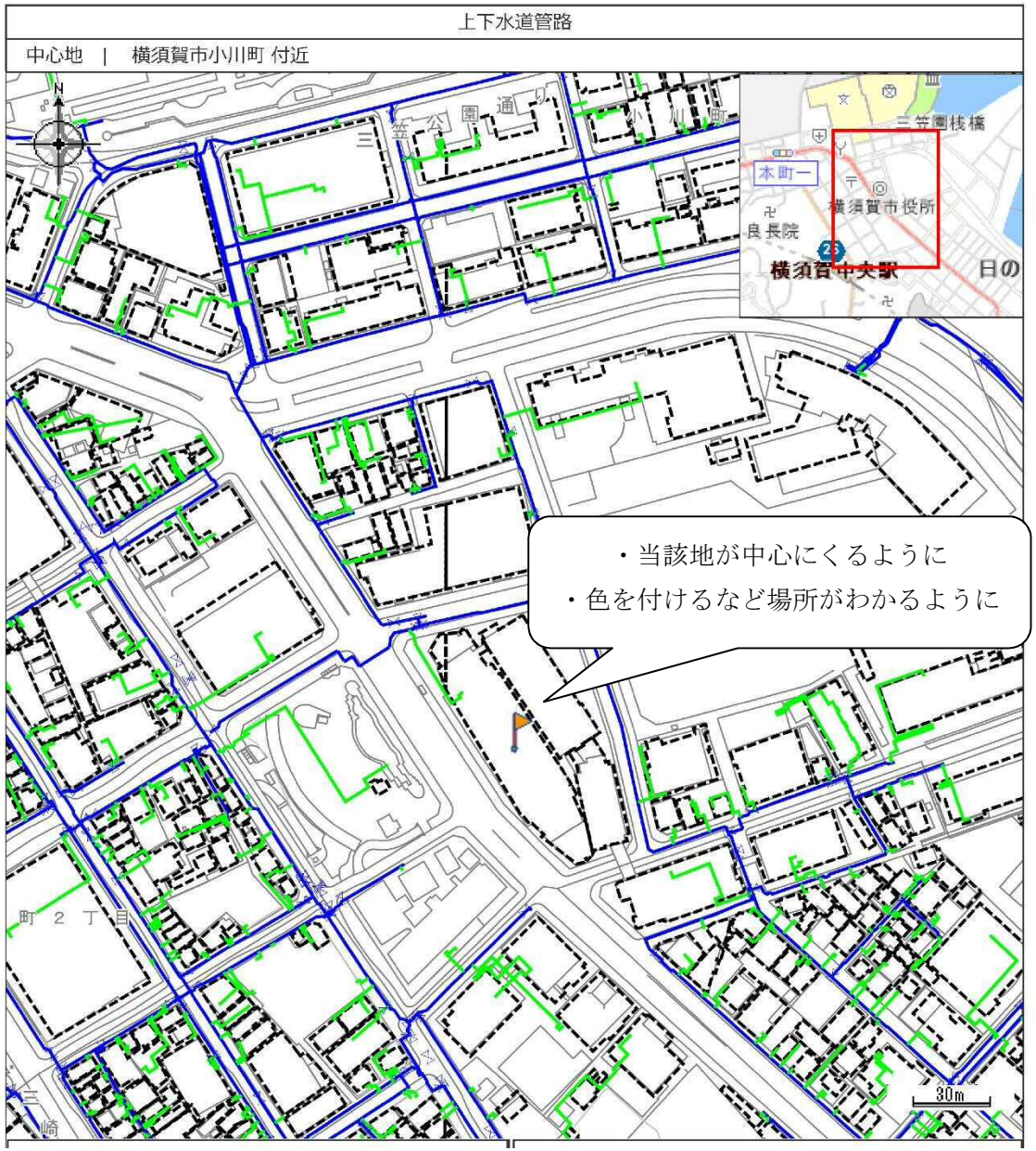
GX 形

項目		シンボル	項目		シンボル
1	GX 形鋳鉄管		7	短管1号	
2	二受 T 字管		8	短管2号	
3	受さし片落ち管		9	栓	
4	さし受片落ち管		10	1FT 字管	
5	曲管				
6	継輪				

案内図

図面と別に添付

2025/03/12 9:44　　よこすか わが街ガイド | 印刷



基本事項記載方法

工事申込書の設置場所を記入

給水工事事業者名を記入

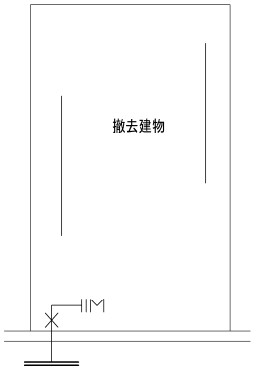
設置場所		工事事業者名		工事番号	しゅん工図にて記入

方位を記入

	1．5cm	3．2cm
		品名
(1)		

特殊な給水器具を設置する場合には、湯沸器、食器洗い器、浄水器等を記入

新設工事と同時に撤去工事がある場合は、簡易な撤去図を記入
図面が複数枚になる場合は、１枚目に記入



撤去図

平面図

3．7cm	
オフセット値	
A：B＝	2．5cm
A：C＝	
A：D＝	
H ＝	

配水管、給水管を問わず、分岐工事がある場合、オフセット値欄を記入

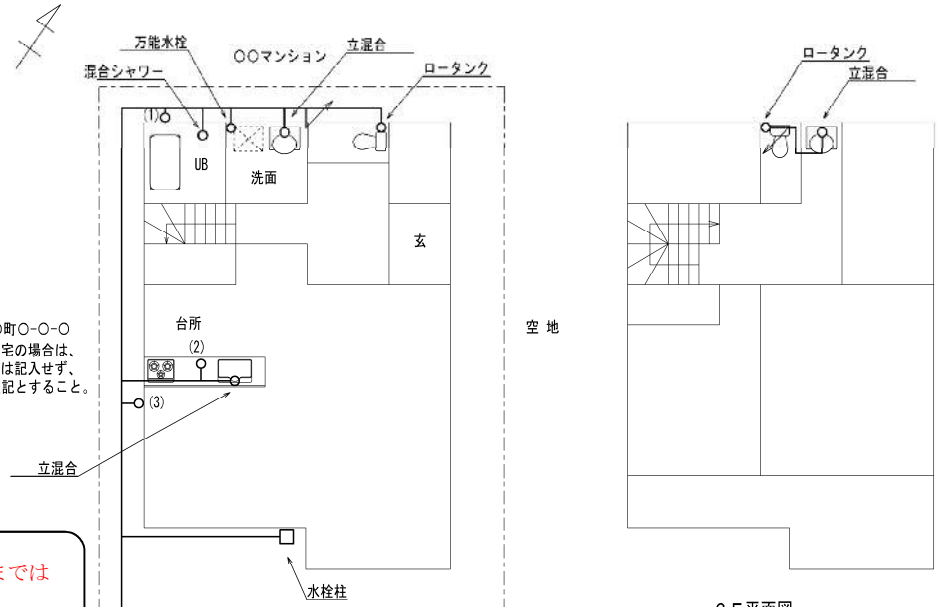
※申請時には不要

しゅん工図の場合に記入

1/1	竣工図

図面表記例

設置場所		工事事業者名		工事番号	しゅん工図にて記入



１Ｆ平面図

２Ｆ平面図

	品名
(1)	給湯器（エコジョーズ） C付ボールタップ
(2)	浄水器 アングル弁
(3)	床暖房用熱源機 C付ボールタップ

エコキュート、エコジョーズ等種別を記入。

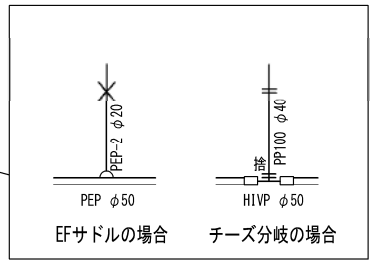
平面図だけでは、縦型のメーターユニットの順番や部屋番号がわかりにくい場合があります。
そのような場合には、立面図も併せて記入してください。

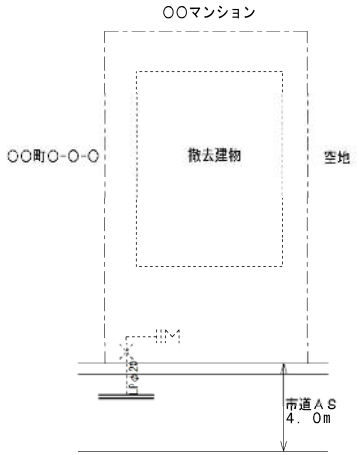
工事用給水などで露出配管を用いるときの記載例
止水栓先の露出配管（HIVPφ20）は、工事用給水で使用するため、建設時には撤去予定です。

工事用給水の際は図面に追記

メーター廻りまでは
管種、口径記入

オフセット値
A：B＝
A：C＝
A：D＝
H ＝





撤去図

※申請時には不要

1/1 竣工図